

次号予告

特集 地球環境問題、わが国の戦略

- 外交問題と化した温暖化新田 義孝 (電力中央研究所)
わが国の公害克服体験を海外の環境対策にどうかすか
—四日市公害の経済学と四日市/天津姉妹都市への適用—鬼頭 浩文 (四日市大学)
京都議定書：交渉の行方、柔軟性の意味、超長期展望における位置づけ杉山 大志 (電力中央研究所)
地球環境問題における人材育成モデルアプローチ真下 英一 (国際環境技術移転研究センター)
地球環境保全とAPECバーチャルセンターの役割森 輝夫 (APEC環境技術交流促進事業運営協議会)

編集後記

- 1999年も早くも3月になりました。企業は年度末、学校は卒業のシーズンとなります。それぞれの環境で最後の締めを行い、新たな出発に備えて欲しいと思います。
- 今回の特集は「スポーツの戦術とマネージメント」です。この企画は97年の12月の編集委員会で提案されました。98年は冬季オリンピックにW杯サッカーとスポーツイベント目白押しというのがキッカケでした。実際に出版されるまで1年と4か月かかりました。
- 「スポーツとOR」という特集でどんな記事が集まるか編集委員としても興味ありました。分野的には非常にORらしいスポーツスケジュールリング問題から、サッカーや野球の戦術の話まで非常に多岐にわたっています。選手として著名だった方の執筆もあり、読み物としても非常に興味深く仕上がっていると思います。

スポーツの世界にパソコンが取り入れられ、戦術分析に巧みに利用されていることがよくわかりました。各スポーツで得られた大量のデータを12月号で特集したデータウェアハウスなどで解析すれば、非常に興味深い結果が得られそうに思いました。シミュレーションソフト(ゲーム)作成にも非常に役立ちそうに思えました。今後の様々な展開に期待したいと思います。

●最近、横浜フリューゲルスとマリノスの合併も話題になりました。プロスポーツの分野は、ひとつの大きなビジネスです。実際には経営的な観点からの色々な分析がなされています。選手側でなく経営者側の視点の論文もあればさらによかったと思います。

●それにしても、ORの適用範囲の広さには驚かされます。実際には、未開拓の分野もまだまだ残っているのでしょうか。今後、どんな特集が組まれるかご期待ください。
(原 裕淳)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 大山達雄(政策研究大学院大学) 副委員長 田口 東(中央大学)

委員 葛山康典(早稲田大学)、栗田治(慶応義塾大学)、笹山晋一(東京ガス株)、猿渡康文(筑波大学)、椎名孝之(財電力中央研究所)、繁野麻衣子(筑波大学)、清水康司(青山学院大学)、外嶋成留(住友金属工業株)、田中宏和(神奈川工科大学)、田村明久(電気通信大学)、原 裕淳(株東芝)、宮崎知明(富士通株)、山下英明(東北大学)、吉野秀明(日本電信電話株)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成11年3月号 第44巻 第3号 通巻459号

代表者 水野 幸男

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

編集人 大山達雄

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税込)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)、日経弘報社(3563-2241)へ